

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 令和7年度

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	つきの樹では、地域密着型サービスの趣旨に基づき、入居者が住み慣れた地域でその人らしく生活を続けられる支援を大切にしている。朝の朝礼にて、理念に基づいた行動目標を立てて、取り組んでいる。	理念に基づいた行動目標を立てて、記録に残してはどうかとの昨年度の助言を受け、各階の連絡ノートに記録し残している。	理念に基づいた行動目標に取り組みている。朝礼という毎日のルーティンに組み込まれている点が良いと思う。	毎朝の朝礼時に、理念に基づいた行動目標を立て、記録していく。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	近隣の理髪店や美容室に、入居者と一緒行き、顔見知りの関係を築いている。ふれあいサロンや保育園との交流、作品展への出品など地域交流が定着している。	地域交流の内容を報告する。	地域との関係性を構築できるような取り組み、イベントが行われており良い。入居者が地域にとけこみ楽しみや喜びを感じ、刺激を受けることは生活するうえで良い事だと思う。	地域に開かれた事業を目指し、地域行事やふれあいサロンへの参加を通じて積極的な関り、顔の見える関係づくりを継続していく。
	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	隣接する小規模多機能けやきの郷と合同にて2ヶ月に1回、運営推進委員と家族に活動内容を報告し、議事録を作成している。ご家族や地域の方からの意見を取り入れ運営に活かしている。	運営推進委員や家族の立場からの意見等、参考になっている。	家族や地域の方の意見を取り入れている点が良いと感じる。	運営推進会議の内容は、スタッフミーティングで伝達し、共有している。家族の立場からの視点を持ったサービスを提供できるように努めている。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	市の介護保険課と、運営推進会議で定期的に会議を行っている。顔の見える関係作りが築けており、利用者の相談や助言やアドバイスをもらい運営に活かしている。	運営推進会議や窓口へ行った際に、意見や助言をもらっている。	市の担当者や地域包括支援センターの出席がある。2カ月に1度運営推進会議を通し、情報交換並びに顔の見える関係を築けている。	運営推進会議を通して顔の見える関係が築けている。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人内と事業所にて定期的・必要に応じて研修をしている。拘束以外の方法を常に検討し安易に拘束しないケアに努めている。	身体拘束をしない工夫、内容。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	拘束しないケアの実践が出来ている。入居者の尊厳を守りながら職員の安全確保にも配慮したケア体制の構築に努めていく。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人内と事業所にて定期的・必要に応じて研修をしている。虐待の目チェックリストを活用し、不適切ケアについて検討することにより意識づけを行っている。	取り組み、実施研修内容等の報告	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待の未然防止を徹底するとともに、職員が安心して相談・報告できる風通しの良い職場環境づくりを継続する。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	全職員が成年後見制度・日常生活自立支援事業について研修で学んでいる。実際に活用する対象者が身近にいないこともあり実践はない			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	改定などの際は文章を交付し、承諾を得ている。契約の際時間をかけて、疑問や不安が残らないように説明を行い、GHではどこまで生活ができるのか、退所しないといけないう時はどのような時かまで、入居前に説明をするようにしている。		グループホームで対応できる範囲について、入居時に説明が徹底できているところが良い。	不明点や不安な点については随時質問を受け付け、納得いただけるよう時間をかけ説明を行うよう努めていく。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者懇談会を実施し、職員も入居者の意見や要望を日常的に聴くように努めている。家族より来訪時や連絡があった際には、積極的にご様子を伝えコミュニケーションをとるよう努めている。	家族目線として、要望を叶えようとする姿勢がありがたい。どんな食事を好み、どんな人と仲がよいのかを知れると嬉しい。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	引き続き、ご家族との信頼関係を大切に、ご利用者一人ひとりの生活が見える運営に努めていく。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎朝、合同での申し送り時の意見交換に加え、毎月全体ミーティングを行い、意見交換の場を設けている。日常的にも現場の意見を聞き、運営に反映している。			

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎年個別に目標設定・面談を行っている。外部研修参加や資格取得に関するフォロー体制づくりを行っている。休憩やシフト、業務改善の為に個々の意見を聞き取り反映させ、働きやすい環境作りに努めている。	資格取得に関する体制がある点が良い。また、最近力を入れているSNS研修等にも参加しており、業務に活かせるよう環境が整備されている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員一人ひとりの成長を支援するとともに、学びを共有し、質の高いサービス提供につなげられる体制を強化していく。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	外部研修や資格取得等、情報共有し、機会の確保、参加する職員のシフト調整等を行っている。また、法人内での研修、フォローアップ研修、キャ	ご家族からは、知識や資格の有無以上に、優しく寄り添う姿勢や確かな技術で安心して任せられる職員を望む声あり。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	研修で得た知識を実践力につなげるとともに、思いやりのある態度や丁寧な関りを大切にした人材育成を推進していく。

				リアパス制度の導入、役職ごとの研修などさまざまな研修を設けている。			
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ケアマネ交流会に副所長(ケアマネ兼務)と参加した。地域での防災会議では、同じ地域の福祉関係者と交流がある。また、職員が認知症サポーターキャラバンの活動を行い、同業者との交流や定期的な勉強会を行っている。また、運営推進会議、地域密着型会議に参加し意見交換を行っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一緒に生活するという目線で支援を行うように心がけている。一方的な介護をするのではなく、下膳配膳食器洗いや自室の掃除など、その方出来る事を見つけ一緒にやっている。		よくできている。	
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者の知人や家族の来所や電話にはできる限り対応し、関係性が不明な時はキーパーソンに確認している。関係が途切れないための支援を心がけている。外出・外泊も家族や本人の希望に添って対応している。	以前からの民生委員との関係を継続し、地域の催しにも参加できるようにしている。	利用者のパーソナルな部分まで対応しているように感じる。このような寄り添ったサポートが継続されるように願う。	地域の一人としてのつながりが継続できる環境づくりに努めていく。
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	趣味や嗜好などの好きな事の把握は積極的に行っている。ご本人や、ご家族から面会時に意見や情報をいただき、普段の関わりの中で趣味や趣向を引き出してご本人の希望に添えるように努めている。	なるべく本人のやりたいことが尊重されると良い。興味のないことを提案し、本人が無気力過ごすことは避けたい。	希望に寄り添うように努力をしている。	日々の関わりの中で丁寧に思いをくみ取り、支援に反映できるよう努めていく。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ミーティングにてスタッフと意見交換をしながら、ご本人とのかかわりの中での気づきや、ご家族、訪問診療などの医療連携での話し合いにより、現状に即した介護計画を作成している。	医療者の考えと介護者の考えが違う場合は、すり合わせが必要。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今後も、多職種が安心して意見を出し合える環境を大切にし、利用者一人ひとりに寄り添った支援を継続していく。

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個別の介護記録では、サービスの提供内容だけではなく、様子や発言、状況などを細かく記録し、職員間で情報共有している。	個別の介護記録は、ケアプランに沿った介護サービスが提供されているか、細かく記録が必要である。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	具体的で丁寧な記録を心掛け、支援内容の検証や見直しに活かす。記録内容をケアの実践やモニタリングに反映させ、支援の質向上につなげていく。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時から状況が変われば、その都度、スタッフだけではなく医療関係・福祉用具等の提供機関に相談しながら、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。		家族は、柔軟な紫煙やサービスに対応してもらえる事業所を選ぶと思われる。	最新の情報や制度動向を積極的に取り入れ、根拠に基づいたケアの実践を行っていく。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	隣接する小規模多機能型居宅介護事業所と協力しながら、地域行事への参加や消防訓練で地域の防災士との交流から、地域のマンパワーを利用できるように配慮している。	地域の方から声をかけていただける関係となっている。	地域行事や民生委員、また自治会などを通して交流を深めていけるとより良い。	地域行事への参加を通じて交流を継続しており、日ごろから顔の見える関係づくりに努めている。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られ係りつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	かかりつけ医とは、診療前の情報提供、日々の報告、相談、必要時の家族と主治医の面談など調整を行っている。	かかりつけ医との密な連携を大切に、日常の健康状態の変化や気になる症状に早めの情報共有を行い、安心して生活を続けられるよう受診支援に努めている。	主治医と密に連携をとれていることに安心する。	
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時病院へ迅速に情報提供を行い、入院情報は往診医や看護師、家族と共有し、スムーズな退院へ向け取り組んでいる		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時に看取り指針を説明し、同意をいただいている。早めの段階から終末期について家族で話しておくことを勧めている。実際にその時期になれば早い段階から医療機関や家族、施設などで看取りの方針を決め、家族の希望に添える援助を行った。	家族としては、看取りまで任せられると安心。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今後も、利用者の尊厳とこれまでの人生を大切にし、その人らしい最期を迎えられるよう、チームで支える体制を継続・強化していく。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	急変や事故発生時に対する法人内の研修やミーティング等で実践力向上に努めている。喉つめの研修を法人で繰り返し練習している。他事業所であった事故を		緊急時、焦って対応できない事態にならないよう普段から備えている体制が安心。	事故やヒアリハットについては振り返りを行い、再発防止を検討・共有し安心して生活できる環境づくりを継続していく。

				共有し、当事者意識をもって再発防止に努めている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回、地域の防災士と共に訓練をすることで、いざというときの館内の間取りや入居者の様子を知ってもらえる。災害備蓄品は本部管理のもと常備している。地域の防災会議にも出席している。	例年地域の防災会議に出席できている点が良い。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の防災会議や防災士との合同消防訓練から、地域との情報共有や連携体制の構築を継続する。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内研修として接遇研修を行い、学び気づく機会を持っている。職員の入れ替わりがあまりないため、なれ合いになってしまう時もある。不適切な対応があれば注意しあい、より良い接遇などに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限り、その方に合わせたペースでのケアが出来るように心がけている。決まった一日の流れを強要せず、臥床時間や入浴等、ご本人の意思や体調に合わせて支援している。本人に寄り添いながら生活リズムを整える部分は、時には本人のペースと違う時もある。	施設のようにならないよう、家として過ごしてもらえるように、心がけている。家族もそれを望んでいる。		生活の場が「施設」とならないよう、一人ひとりが自分の家として安心して過ごせる環境づくりを心掛けている。継続していく。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の嗜好品やノンアルコールビールなど、出来る限り寄り添って食べたいもの飲みたいものを家族に協力を得て提供している。おやつ作りのレクレーションや出前、外食など、楽しめる食事の提供に努めている。食事の準備や片付けは、入居者の方にも行ってもらっている。	嗜好品を味わうことで、過去のことも思い出す時間が増えると良い。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事や水分量を記録し一日の摂取量を把握している。必要に応じて嗜好品などはご家族にも協力していただき、提供を行っている。		脱水にならないよう、管理しているのは安心である。家族として、嗜好品としての水分補給の時間があるのは嬉しい。	水分補給の時間を、嗜好品を入れながら楽しみのひとときとなるよう工夫を継続していく。

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的に訪問歯科診療を受け、歯科衛生士による口腔ケアの助言と指導を受けている。本人の口腔状態に適したケアを日々の口腔ケアに取り入れている。	口のケアまで行ってもらえることは、ありがたい。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今後も、医療と連携しながら口腔機能の維持・向上に努め、利用者の健康を支えていく。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個人の排泄パターンを排泄チェックや記録に残し、その方にあった種類のおむつ類を取り寄せ使用し、自立支援に向けたケアの支援に活かしている。多少の失禁があったとしても夏は布パンツ、冬は紙パンツなど状態に応じて、使い分けている。	排泄パターンを観察して普段は布、必要時に紙パンツなど状況に応じて使用できている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自立を尊重した支援が実戦できているとの評価をいただき、今後も尊厳を大切にしながら安心して過ごせる排泄支援を継続していく。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々に合わせた支援に努めている。曜日の設定はあるが、体調や外出予定、気分に沿って時間や曜日の変更を行っている。季節に合わせてゆず湯やしょうぶ湯など季節を感じる楽しみを提供できている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	照明器具や室温などに配慮しながら個々の状況に合わせた支援を行っている。不眠防止の為、日光浴や散歩も積極的に行っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	往診に薬剤師が立ち会ってくれており、症状の変化に迅速に連携できている。医師や薬剤師に質問や相談を行いながら、服薬支援を行っている。	薬剤師と連携することで、介護の業務が軽減できていることが良い。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	専門職と連携する体制が整っていることで、介護職の負担軽減につながっている。今後も、多職種協同のもと、安全で安心な服薬支援体制を継続していく。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎日の家事活動や挨拶、園芸、制作、個別の外出等、様々な活動を通じて実施し個々に合わせた役割支援、買い物などの楽しみごとの支援を行っている。外出時の混雑をさけるため、空いている時間帯や曜日、予約等を行い外出している。		日々の楽しみとなる出来事を支援・準備していることが細やかな介護サービスの提供だと感じる。	
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月のふれあいサロンや地域行事、お散歩や隣のコンビニへの買い物、外出ドライブなどは頻繁に行っている。地域行事は、家族と参加したり、地域の方が現地でサポートしてくれるなど、協力を得られている。		外出の機会がコンスタントにあることが、家の暮らしに近いと感じる。	

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	預り金の中でご家族と相談しながら自由に使えるお金の使用や管理を支援している。				
	38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	Wi-Fi環境を整えており、アレクサの導入をしている方には、家族や知人との交流を支援している。届いた手紙の返信や電話対応の支援を行っている。年賀状を書き、送りたい人へ送る手伝いを行った。	年賀状や手紙の返信の手伝いをした事例や、かかってきた電話へのかけなおし、本人が電話をかけたいときに事業所の電話から取り次ぐなどの事例。	本人自らの電話や手紙は、家族も嬉しい。また、その支援をしてもらえることはありがたい。	利用者が大切な人とのつながりを継続できるよう支援していく。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	共用空間では、清掃や整理整頓を日常的に行い、常に清潔で安全な環境を維持している。また、花や植物、季節を感じられる飾りつけを取り入れ、入居者がくつろぎながら会話や活動を楽しめる空間づくりに努めている。	季節を感じられる飾りつけや清潔を保っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	季節を感じられる飾りつけを取り入れながら、日々の清掃や整理整頓を徹底し、清潔で落ち着いた空間の維持を心掛けていく。	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)								
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者が「自分で決める」「自分らしく過ごす」ことを大切に、職員は必要以上に手を出さず、そっと見守る関りを心がけている。日常の選択の積み重ねが、安心と自信につながるよう支援している。		本人が選択できるよう、干渉しすぎず見守る姿勢があるのは良い。	本人主体の暮らしを実践できている。過干渉にならず尊重する関わりを継続し、自己決定を支える環境づくりに努めていく。	
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時の聞き取りや日常の関りを通して把握し、概ね支援に活かしている。一人暮らしの方も多く、家族から生活歴を聞き把握できている入居者は半数程度であるが、日常の関りから情報を得るよう努めている。				
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	医師・看護師・理学療法士と日々の状況を共有し、ケア・支援内容を話し合っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	様々な専門職と連携しながら支援を行っている点が良いとの評価あり。今後も、多職種協同のもと、利用者が安心して暮らせる支援を継続していく。	

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の散歩や、ひとりの時間を有効に使えるように、支援していきたい。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自室に個々の家具を持ち込まれ、壁面に写真などを飾って、過ごしやすい空間で生活されている。	家庭的な居心地の良い環境、家の延長として過ごせるよう、馴染みのある家具持ち込める点が良い。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望に沿えるように、外出の希望があった時には個別に、相談を受け対応している。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	台所での家事は、出来ることを出来る範囲で、自由に行ってもらっている。日々の関りから、ご本人が出来ることを見つけ、季節の行事や、制作を行うことを支援している。	年末年始の外泊、外出、一緒に散歩をする、お散歩面会などの内容	外泊や外出が自由に行ける。入居しても家に会いに行く感覚で会いに行ける。	生活の延長として、その人らしい暮らしの継続を支援していく。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が関りを深め、信頼関係を築き、個々の能力を見極めいきいきと過ごせるように支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外泊、外出は自由に行えている。帰所後の対応は、感染防止の為、食事の席を分けて対応し、3日間健康チェックをしている。	年末年始の外泊、外出、一緒に散歩をする、散歩面会などの内容	外泊や外出が自由に行ける。入居しても家に会いに行く感覚で会いに行ける。	生活の延長として、その人らしい暮らしの継続を支援していく。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近くに住む家族に見守られながら、住宅街の真ん中にあり立地が良い環境で、安心した生活が送れるように支援している。	住宅街の真ん中にあり、近隣に住む家族も会いに行きやすい環境。その中で細やかな介護サービスが提供されていることが大変良い。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人主体の支援を大切にし、多職種や地域と連携しながら、その人らしい暮らしが継続できるよう支援できているという評価を受け、今後も、利用者の思いを大切にしながら、安心して温かい暮らしを支える事業所運営に努めてまいります。